

中善寺のめおとカリン

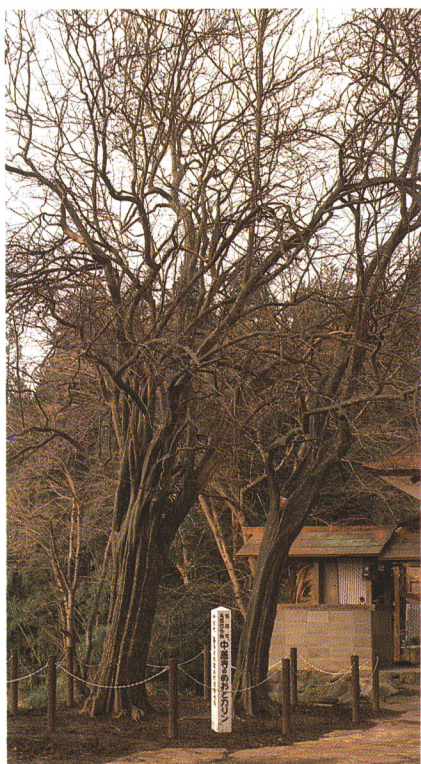
中善寺のめおとカリンは、一本は樹高二〇メートル、根元の周りは二・二五メートルであり、もう一本は樹高一五メートル、根元の周りは一・六五メートルである。樹齢は二五〇年と推定される。二本のカリンは、北西に約十五度傾き根元の間隔は九八センチしか離れていない。幹には大きな（二五―三〇センチ）凹凸模様があり、形態学上からも大きな意義がある。

カリンは、中国原産でわが国の神社仏閣に多く植えられたが、現在では各家庭にも植えられている身近な樹木である。牧野植物図鑑によると、樹高は八メートル内外と記されている。

かりんーばら科

所在地 関柴町関柴 中善寺

指定年月日 平成元年七月十八日



外島家住宅

外島家住宅は、木造・寄せ棟造り・茅葺き・平屋建ての江戸中期の村役上層農民の住居で、面積は二百六十一㎡（七一・五坪）である。

外島家は、同家に伝わる「慶徳組郷進退記」などの資料や解体修理時に出てきた祈禱札ら考え合わせると、明和八年（一七七二）に建築されたとして間違いないだろう。以来、明治三年（一八七〇）郷頭制が廃止されるまで、代々郷頭を務めた由緒ある家柄である。外島家は、村役層住居としては当然の規模を持つが、梁行きは上手の座敷側を一段小さくして少し変形させた平面となっている。

外島家は、昭和六十三年十月に市に寄付され、平成二年度事業として移築復元工事が行われた。



所在地 喜多方市字押切川向

指定年月日 平成元年四月七日